

モニタリングサイト 1000 里地調査 全国交流会  
with コロナ時代の里山の活用と保全  
～私たちにできることは何か？～

モニタリングサイト 1000 里地調査（以下、モニ 1000）は、100 年にわたり全国各地の市民の方と協力して自然環境のモニタリングを行い、保全につなげる環境省事業です。これまでの調査により、里山に普通に生息していた種が急速に減少していることなどが明らかになってきました。そのような中、新型コロナウイルス（以下、コロナ）の影響により都市へ一極集中する社会の在り方そのものが大きく変わり、里山の価値が見直されつつあります。

そこで今回の交流会では、コロナ時代の里山の自然資源の新たな活用・保全に向けたアイデアや、活動メンバーとの関係性をより良くしていくポイントを学びます。そして午後は、現場で活動を実践している方々にご参加いただき、ご自身の現場でどのように活用できるか和気あいあいと楽しく話し合い、全国の皆さんとの交流を深めたいと思います。多くの皆さまのご参加をお待ちしております！

## 講演



「コロナから学ぶ。  
共生時代の里山経済」



「with コロナ時代の  
市民活動・コミュニティ」



「モニ 1000  
里地調査で  
見えた里山の今」

伊川 健一氏  
(健一自然農園 代表)

五井 利明氏  
(CR ファクトリー 副理事長)

藤田 卓  
(日本自然保護協会)

## 内容概要

日時 2020年12月5日(土) シンポジウム 10:00~12:30  
分科会 13:30~16:00

開催方法 オンライン会議システム「Zoom」によるビデオ通話

参加費 無料 ※通信費用は参加者のご負担になります

対象 《午前 シンポジウム》 どなたでも参加できます (要申込)

《午後 分科会》 モニ 1000 里地調査員、里山で活動されている方(定員 30 名/要申込)

## プログラム概要

時間	内容	詳細	参加形式
午前の部 (10:00-12:30)	シンポジウム ・モニ 1000 里地調査の紹介 ・講演 ・講演者による総合討論	モニ 1000 里地調査の事業概要や調査結果の紹介の後、with コロナ時代を見据えた里山の活用や保全活動に関する基調講演をしていただきます。	リアルタイムで配信される講演をお聞きいただけます。 
12:30-13:30	昼食休憩		
午後の部 (13:30-16:00)	分科会 (定員 30 名)	グループに分かれ、ご希望のテーマについて参加者同士で「課題やアイデア」を共有・交換しあうグループワークを行います。	参加者全員で顔を合わせて話し合います。 

# モニ 1000 里地調査 全国交流会 2020 プログラム詳細

- ※ プログラムの間には適宜 休憩と質疑応答を挟みます。
- ※ 発表タイトルなど変更される場合がございます。あらかじめご了解ください。

## 午前の部 (10:00~12:30)

里地事務局や専門家から、モニ 1000 の事業概要や里山での保全・活用、関係づくりについてお話しします。

- 開会挨拶 生物多様性センター センター長 松本 英昭
- 「モニタリングサイト 1000 とは」 生物多様性センター 市塚 友香
- 「モニ 1000 里地調査で見た里山の今」 日本自然保護協会 藤田 卓
- 「コロナから学ぶ。共生時代の里山経済」

自然栽培茶園を通した里山保全の実践と自然資源を活かした持続的な生業・スモールビジネスの進め方について紹介。 健一自然農園 代表 伊川 健一氏

- 「with コロナ時代の市民活動・コミュニティ」  
ボランティアで作るチームの円滑な運営やこれからの活動継続のポイントについて紹介。 NPO 法人 CR ファクトリー副理事長 五井 利明氏
- 総合討論

## 昼食休憩 (12:30~13:30)

## 午後の部 (13:30~16:00)

午後の分科会では下記いずれかのテーマでグループに分かれ、今課題に感じていることやアイデアについて参加者同士で話し合い、交流を深めます。参加希望の方は、申込みの際にご希望のテーマをお知らせください。

### 1 : 里山の保全活用

### 2 : より良いチームづくり

※定員を超えた場合にはモニ 1000 里地調査にご協力をいただいている調査員の方を優先とさせていただきます。

## 講演者プロフィール

### 伊川 健一氏 (健一自然農園 代表)

1981 年奈良県大和郡山市生まれ。2001 年耕作放棄地を開墾し自然農園を開く。現在約 3 万坪を超える茶園で自然茶を生産し国内外に販売。全国有名自然食品店、大手服飾ブランド、コスメブランドなどとコラボレーションをしながら、新しい農業流通の形態を実現している。また、自然農法×ものづくり・環境・教育・森林・観光・福祉・医療・日本文化...といった方面で、社会の多面的な角度へのコラボレーションを図り、『人が自然として在れる未来の実現』を目指し、個人・行政・企業と共感しつつ協同している。

健一自然農園代表・自然茶師、奈良県山添村「かすががーでん」講師/農事組合法人春日茶園監査。

### 五井 利明氏 (NPO 法人 CR ファクトリー副理事長)

2011 年 CR ファクトリーに参画。2012 年度から内閣府地域活性化伝道師に就任。数多くのコミュニティやプロジェクトの運営実績、NPO・行政・企業それぞれの勤務・事業の経験を活かして数多くの協働事業のコーディネートを手がける他、講師・ファシリテーターとしては年間 100 回以上の登壇がある。誰もが「共に生きたい」と思える世の中を実現したいと願い、CR ファクトリー以外にも多様な組織の経営や事業に参画している。

一般社団法人 JIMI-Lab (代表理事)、認定 NPO 法人かものはしプロジェクト (日本事業マネージャー)、株式会社ウィル・シード (インストラクター) など。

### 藤田 卓 (日本自然保護協会)

(公財) 日本自然保護協会職員。理学博士、技術士 (環境部門)。専門は植生学、植物分類学、保全生物学。環境省版植物 RDB 調査のとりまとめ等を担当。NACS-J では、群馬県みなかみ町にある 1 万 ha の国有林を地域住民と官民協働で管理する「赤谷プロジェクト」、絶滅危惧種の保全、各地の保護問題の支援等を担当。現在は、モニタリングサイト 1000 里地調査のデータ解析主担当。

## 参加方法

- ①参加のお申込み 下記の申込詳細欄をご覧ください、まずは参加をお申込みください。
- ②受付確認のご連絡 お申し込み後、事務局よりメールにて受付確認のご連絡をいたします。
- ③URLのご連絡 当日までに、ご参加いただくための URL をメールにてお送りいたします。  
午前の部・午後の部それぞれ別の URL ですので、ご注意ください。
- ④参加前のご準備 当日までにオンライン会議システム「Zoom」のインストールを行ってください。  
インストールの方法 <https://coco-senior.jp/article/detail/?id=160>
- ⑤Zoom テスト 12/1（火）19:30～ Zoom の事前通信テストを行います（希望者対象、申込不要）。
- ⑥交流会当日 当日お時間になりましたら、③でお送りした URL をクリックしてご参加ください。

## お申込み

- 1)、2) のいずれかの方法でお申込みください。  
モニ 1000 調査サイトの皆様は、できる限り連絡担当者の方がサイト内の参加者をまとめてお申し込みいただきますようお願いいたします。

1) 下記ウェブフォーム（Google フォーム）に必要項目を記入し送信する。

<https://forms.gle/Si3RiwRJvhtUnx6q6>

2) メールにて次の事項を記入の上、事務局アドレス ([moni1000satochi@nacsj.or.jp](mailto:moni1000satochi@nacsj.or.jp)) まで送る。

- ①お名前 ②ご所属 ③お住まいの都道府県 ④メールアドレス
- ⑤参加希望プログラム（シンポジウム／分科会）
- ⑥分科会参加の方は希望するテーマとご自身の里山での具体的な活動内容

※ 午後の分科会に定員を超えるお申し込みがあった場合は、受付期間終了後に参加の可否についてご連絡いたします。

- **申込み締め切り：2020年 11月 27日（金）（必着）**

**申込み・問合せ先：(公財) 日本自然保護協会 モニタリングサイト 1000 里地調査事務局**

〒104-0033 東京都中央区新川 1-16-10 ミトヨビル 2F

TEL：03-3553-4104 / FAX：03-3553-0139（電話受付時間：平日 10時 30分～15時）

E-mail：moni1000satochi@nacsj.or.jp



ウェブフォーム  
QRコード

### モニタリングサイト1000里地調査とは？

モニタリングサイト 1000 は、動植物の生育生息状況などを 100 年にわたって同じ方法で調べ続けるサイト（調査地点）を全国に 1000 ヶ所程度設置し、日本の自然環境の変化をとらえようという環境省のプロジェクトです。モニタリングサイト 1000 里地調査とは、このうち里地里山分野の調査を指し、日本自然保護協会（NACS-J）が事務局を担っています。本調査では全国約 200 ヶ所で現地の調査団体が生物相や指標生物、水環境といった様々な項目について統一された手法で調査を行っており、里地里山という複雑な生態系の変化を全国レベルでとらえることを目指しています。